

備前市事務事業評価表

事務事業名	開発指導事業		コード	01-01-02-01
			担当課・係	都市整備課・都市計画係
			担当者	大森賢二
事業実施期間			電話	0869-64-1834
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり		
	小項目（施策）	開発規制		

事業について	
目的 (何のために)	無秩序な開発を防止し、現在及び将来の市民の健康で快適な生活環境の確保に寄与するため
対象 (誰・何を対象に)	開発行為をする者（各法令で定めた許可基準に該当する場合）
内容	窓口、電話による開発相談への対応。開発申請書の書類審査、県知事許可案件の県知事への進達、市条例の開発許可、台帳記載等。

事業の結果	
実施項目	17年度 回数など 18年度 回数など 回数など
都市計画法	0件 / 1件
宅地造成規制法	2件 / 3件
岡山県土保全条例	0件 / 0件
市開発条例	5件 / 3件
相談件数	65件 / 48件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	間接事業費	20	直接事業費	0	間接事業費	0
	人件費	10,555	受益者負担	8,238	人件費	0	受益者負担	0
	合計	10,555	一般財源等	10,555	合計	8,258	一般財源等	8,258

必要人員	123人	0.96人
結果指標名	相談件数	相談件数
結果指標量	65	43
単位	件	件
対前年比	-	66.15%
活動にかかるコスト	10,555,000円	8,258,000円
単位当たりコスト①	162,385円	192,047円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	無秩序な開発を防止し、現在及び将来の市民の健康で快適な生活環境の確保		
成果指標名	相談回答率	式又は説明	回答件数/相談件数
	17年度	18年度	
成果指標量	100%	100%	
対前年比	-	100.00%	0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： <input type="checkbox"/> 都市計画法29条、宅地造成規制法、岡山県土保全条例、市開発条例	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	都市計画法、宅地造成等規制法、岡山県土保全条例により法令で定められており、目的・対象ともに妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	他部署との密接な連絡調整により、事務処理を効率よくする。また、コストの削減が図れる。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	無秩序な開発を防止
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 窓口、電話による開発相談への対応。開発申請書の書類審査、県知事許可案件の県知事への進達、市条例の開発許可、台帳記載等。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量① 相談回答率	結果指標量②
	成果指標量 100%	

総合評価	評価区分 <A~E> B
開発関係申請事務は、申請者からの許可申請により事務処理が行われるので計画的に進めることはできない。また、他法令の許認可の進捗状況により事務処理に影響があるため、他部署と密接な連絡調整をする必要がある。	

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する 平成19年度で廃止・完了
--------------	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	提出書類の完備の指導	毎年度	審査期間の短縮